

「令和6年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第3回）」議事概要

I 日 時

令和6年10月22日（火） 13：30～15：30

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 14階会議室 21～22

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

◎池田 浩之（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○鳥山 亜弓（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 令和6年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について

② 令和6年6月から8月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

（2）その他

V 議事内容

（1）① 令和6年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 令和6年6月から8月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
・ 公告を広く関係業者に情報提供しているが、現状のままでは以前受注した業者の一者応札が続いてしまう恐れがあるため、そうならないような改善策を検討してほしい。 ・ 予算取りや契約期間等を考えるともう少し早く検討を進める必要があったのではないかと。 ・ コンサルティングや企画運営等を一連の業務という理由で野放図に随意契約とならないよう、契約の仕方や切り分け方等を工夫すべきなので、改善策を検討してほしい。 ・ 信書の集荷配達事業者は他にもあるため、次回以降はより幅広く事業者へ案内するよう注意してほしい。 ・ ITに関しては情報漏洩等セキュリティリスクもあるため、業者の信頼性についてより慎重に確認するようにしてほしい。	・ 調達業者が改修業務に多くの時間が割けるよう調達時期を早める。また、次回調達時に、今回呼びかけを行わなかった企業に対しても、調達案件の紹介を行っていく。 ・ 御指摘を踏まえ、今後は一者応札が発生しないよう十分な検討期間を設けた上で、調達に取り組むこととする。 ・ 御指摘を踏まえ、今後はこのような随意契約が発生しないよう、最初の調達の段階で、より先々の計画を丁寧に精査することにより、適切な契約の仕方や切り分け方を検討した上で、調達に取り組むこととする。 ・ 次回調達時は総務省のホームページで公表されている特定信書便事業者一覧等を参考に、PMDAが求める条件に合致する事業者へ幅広く案内することとする。 ・ 今回調達を開始するにあたっては、国内工事に比してセキュリティリスクが高くなるが、現地法人に対しそれを評価することが困難であることから、PMDA本部業務経験があり且つ現地支店を設置している複数者から選定することとした。結果として国内工事と変わらぬ成果を得られたことから、次回以降においても同様の手続きを採用することとしたい。

(2) その他について

令和6年11月～2月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上